

草加市 リサイクルセンター

◆施設案内◆



草加市

もったいない!



環境負荷を考えもったいないを 実践するリサイクルセンターです。



3Rの推進と、
環境学習を目的とした施設です。

21世紀は環境の時代と言われています。この環境への負荷が少ない循環型社会の構築が求められる中、草加市リサイクルセンターが新たに生まれ変わりました。ごみの3Rである「リデュース(発生抑制)」「リユース(再使用)」「リサイクル(再生利用)」を推進することは勿論のこと、廃棄物を適正に処理する中心的役割を担う施設で、施設の稼働自体にも環境への負荷が少なくなるよう配慮し、ランニングコストの低減が図れる施設となっています。

また、市民の皆様には、環境問題を身近に感じていただきたく、処理施設をリサイクル棟とプラザ棟に分け、リサイクル棟ではびん、缶、不燃ごみ、粗大ごみを資源として再生する過程を見学できる施設としました。

併設したプラザ棟は啓発施設として、環境学習をテーマとした様々な展示や書籍を配置するとともに、ゲームを通じて、ごみの分別を学んでいただけるコーナーや、休憩スペースもご用意しました。お子様からご高齢者まで広くご利用いただける施設となっておりますので、多くの皆様のご来館、ご利用をお待ちしております。

草加市という地域単位から地球環境の保全を発信することは重要です。リサイクルセンターの完成を機により一層、効率的な廃棄物行政を展開してまいりますので、皆様におかれましても循環型社会の構築に向けてご理解・ご協力をお願い申し上げます。

草加市



施設概要

施設名称：草加市リサイクルセンター
建設場所：草加市稲荷1-8-2
敷地面積：5847.32㎡(1768.81坪)
工期：平成19年1月～平成21年10月

●リサイクル棟

処理能力：35t/日(5h)
びん類：9t/日(5h)
かん類：2t/日(5h)
不燃ごみ：21t/日(5h)
粗大ごみ：3t/日(5h)

主要設備

・資源ごみライン

コンテナ垂直搬送機、コンテナ自動倉庫、磁選機
アルミ選別機、金属圧縮機

・不燃・粗大ごみライン

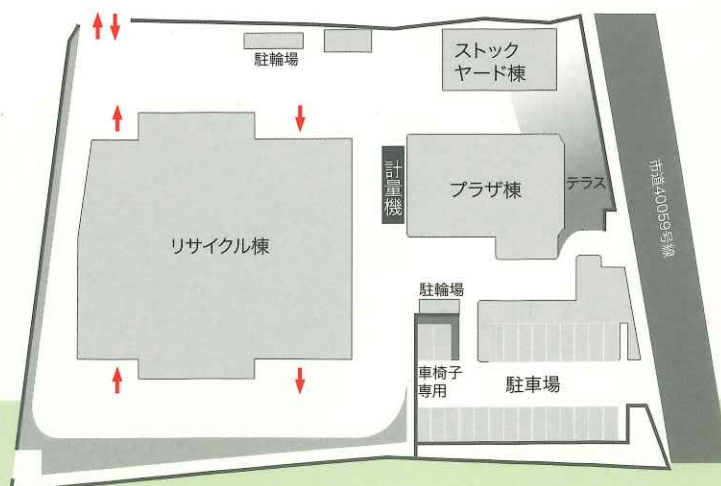
粗破砕機、破袋機、細破砕機、磁選機、風力選別機、
回転篩、アルミ選別機、アルミ精選機

・共通設備及び集じん及び環境設備

ごみ計量機、サイクロン、バグフィルタ、脱臭装置、太陽光発電設備

●プラザ棟

啓発設備：リサイクル啓発/学習コーナー

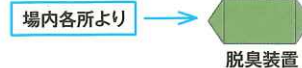
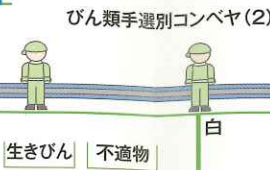
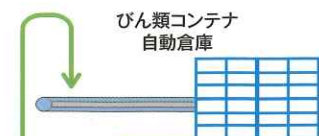




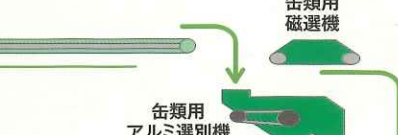
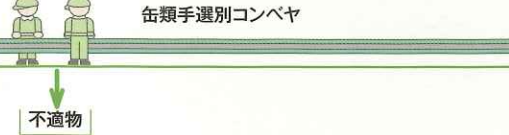
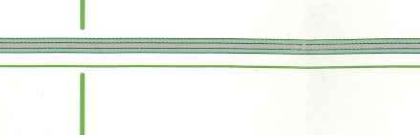
リサイクルセンターの働きを見てみよう!



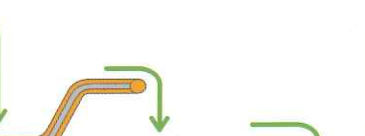
びん類ライン



缶類ライン



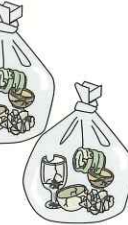
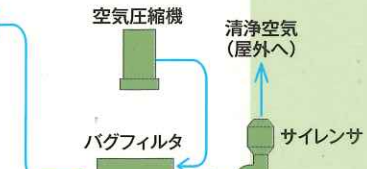
粗大ごみライン



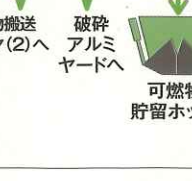
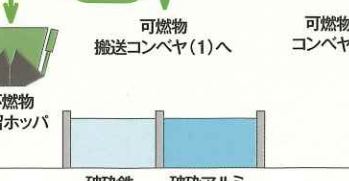
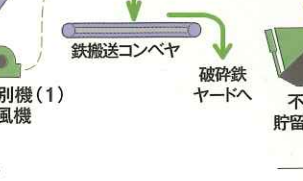
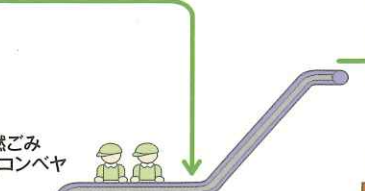
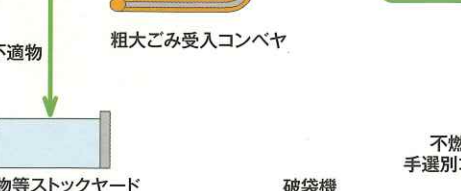
臭いやほこりは、施設内でシャットアウト



臭いやほこりは、施設内でシャットアウト



不燃ごみライン



草加リサイクルセンターの啓発施設では、
漫画家でエコロジストの赤星たみこさん監修による、
環境を学び実践するための展示を行っています。
『知る』『気づき』『高める』の3部構成で環境学習を展示します。

知る



気づき



高める



啓発施設では、「もったいない」を
遊んで、学んで、実践へと繋がります！

みなさんは、3Rをご存じですか？

『3R』とはリデュース (Reduce)・リユース (Reuse)・リサイクル (Recycle) をさします。
環境問題を考えていく上で、ごみと資源に関わる問題を解決する“キーワード”と言われています。

Reduce

リデュース
発生抑制



過剰包装は、ごみを家庭に持ち込むようなものです。
不要な包装は断ることも大切です。

Reuse

リユース
再使用



くず野菜や、冷蔵庫に残った野菜も、カレーに入れたり干して漬け物にしたりして使い切りましょう。

Recycle

リサイクル
再生利用



分別にはマナーが大事です。
きちんと分別すると再生できるものがたくさんあり、ごみは少なくなります。



草加市
リサイクルセンター

〒340-0003
埼玉県草加市稲荷1-8-2
TEL:048-930-1156